京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

バタアン・コレヒドール攻略
壯烈、鬼神を避けしも
感狀榮あり三勇士

【東京電話】バタアンおよびコレヒドール攻略戰に偉勳を樹てた野々村春水軍曹、淸水與市伍長および青木義太郎上等兵に對してはさきに本間比島方面陸軍最高指揮官からそれ〴〵感狀が授與されたが、今回畏くも上聞に達した旨マニラ陷落一周年記念日たる一月二日を前にして一日陸軍省から發表された、感狀天聽に達する光榮に輝く三人の勇士はいづれも勇猛果敢を極め、鬼神をも避けしめるその壯烈な行動は本間最高指揮官から皇國軍人の龜鑑としてその武功を激賞されてゐる

陸軍省發表（一月一日十六時）比島攻略作戰において武功をたてたる陸軍々曹野々村春水および陸軍伍長淸水與市ならびに陸軍上等兵青木義太郎に對しさきに同方面陸軍最高指揮官より軍人の龜鑑としてそれ〴〵感狀を授與せられしが 今般 畏くも上聞に達せられたり

感狀

今井步兵部隊 陸軍々曹 野々村春水

右はバタアン攻略戰に分隊長として參加し、一月廿四日アブガイハセンダ附近中隊の夜襲に際し堅壘による頑敵に對し彈雨を冒して率先突入し、奮戰格鬪これを奪取し、爾後における部隊の戰捗進展の契機を作せり

また一月廿九日タリサイ河畔敵陣地に對する夜襲に際し優勢なる敵を迂回攻擊して巧みに敵重機關銃陣地を奪取、重機二を鹵獲し中隊の突進を容易ならしめたり

以上の行動は夜間攻擊において勇猛任務なる攻擊精神と果敢積極なる企圖心とを發揮せる結果なりしかして軍曹は他にこれに類する武勳を立つること一再ならず、精强衆を拔き眞に皇國軍人の龜鑑たり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年六月廿八日　比島方面陸軍最高指揮官　本間雅晴

感狀

武智步兵部隊 陸軍伍長 淸水與市

右はバタアン攻略戰に參加し二月九日バガツイ東南方の戰鬪において機關銃分隊長として奪取せる陣地の確保を命ぜらる、敵は近きは二十數メートルの距離より間斷なく銃砲火を浴びせ、かつその戰車はしば〳〵わが第一線陣地附近を蹂躪す、この間伍長は終始克く分隊を掌握し時として自ら小銃、輕機を執りて敵に對す

敵はさらに兵力を增加し逆襲を反復し、戰鬪益々激烈となり部下逐次死傷するも伍長は沈着豪膽敵彈雨飛の下克くわが彈着を觀測し的確なる射擊指揮をもつて敵に多大の損害を與へ遂に敵をして陣地奪回企圖を放棄せしめ部隊の任務達成を容易ならしめたり

以上の行動は旺盛なる責任觀念の下に平素練磨せる武技を遺憾なく發揮したるものなり、しかして伍長は他にこれに類する武功を樹つること一再ならず精强衆を拔き皇國軍人の龜鑑たり

仍て茲に感狀を附與す

昭和十七年六月廿八日　比島方面陸軍最高指揮官　本間雅晴

感狀

陸軍上等兵 青木義太郎

右はコレヒドール要塞攻略戰に方り五月五日夜[illegible]第一回上陸部隊の[illegible]任ずるや、海上身に二箇所の貫通銃創を受くるも屈することなく、舟艇運轉者とともに敢然左手をもつて步板を繰り出し、ついで率先上陸これを確保し激烈なる敵火を冒して作業を續行し、[illegible]以上の行動は傷つくもなほ任を離れず、力盡きなんとするや身をもつて[illegible]しかして遂に[illegible]任務を遂行せるものにして、壯烈鬼神を泣かしめ軍人精神の權化、皇軍工兵の龜鑑たり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年六月廿八日　比島方面陸軍最高指揮官　本間雅晴

新銀行の名稱『帝國銀行』

【東京電話】第一銀行及び三井銀行を以て設立する新銀行の名稱については兩行間で研究中であつたが卅一日『帝國銀行』と決定發表した、なほ新銀[illegible]締役會長は明石照男氏（第一頭取）頭取は萬代順四郎氏（三井會長）と決定、新銀行は四月一日より發足するが本店などはなほ未定である[illegible]において設立する新銀行の商號は株式會社帝國銀行と決定

元旦の宮中御儀

【東京電話】皇國隆昌として大東亞の天地に光被する昭和十八年の元旦に當り 畏くも天皇陛下には親しく宮中において四方拜、歳旦祭の儼く新年の御儀を執り行はせられ、寶祚の無窮と民草の福祉を御祈願あらせられ輝く戰果のうちに明けし新春を壽がせられたと承る 天皇陛下にはこの日早曉御起床、若水にて御淨身の御のち、未だ明けやらぬ下には同五時四十分賢所大前を召させられて神嘉殿南庭に出御あらせられ御座に就かせられ、神宮をはじめ四方の天神地祇、諸陵、山陵を御遙拜あらせられ四方拜の御儀を終へさせられた 陛下には同八時、御束帶に御台盤の御袍[illegible]鈴の儀のうちに御親拜、更に皇靈殿、神殿に御親拜あらせられ、かくて歳旦祭の御儀を終へさせられた[illegible]輝く新春を壽がせられ[illegible]に於て皇后陛下とお揃ひにて御祝膳に就かせられた、同十時天皇陛下には鳳凰間に出御、御參內の各皇族殿下に御對面新春の御祝詞をうけさせられた御のち、各皇族殿下御後に扈從あそばされて正殿に出御東條首相以下文武顯官、同夫人等の拜賀をうけさせられて天機伺うるはしく入御、同十一時再び正殿において有資格者の拜賀式を行はせられ、さらに午後一時三十分からアンリー佛國大使以下各國使臣等の拜賀をうけさせられ儼く新年の御儀を終へさせられた、なほ二日は午前八時御朝饌に就かせられた御のち同九時から有資格者に參賀記帳を差許される

新春對談 決戰時局を打診する【2】

語る人…白鳥敏夫氏

明治二十年六月千葉縣に生る。東京帝大卒業後直に外務省に入る。情報部長から各國駐劄全權公使を經て伊太利國駐劄全權大使となり、昭和十五年八月新體制準備委員、昭和十七年の總選擧に代議士に當選。

來間 このごろ極く一部の間にヨーロッパの戰況について悲觀說を唱へて、ひいては大東亞の形勢まで悲觀的にいふ者がありますが、僕はさういふ見方は間違ひぢやないかと思ひます、いなさういふ見方は英米追隨思想の名殘りでどうかすると妥協論の前提になりやすい悲觀思想だと思ひますがどうでせうか

白鳥 悲觀說なんて全く滑稽だよ、ドイツはこの二年ばかり戰力の大部分をロシヤに向けてゐたから、その間に英國は餘勢を恢復して氣を吐くことが出來た、といつてもその結果何をやつたかといへばこの間アフリカで盛り返しをやつた位のものだ、それも英米が總動員した[illegible]はどうまく行つてはをらぬ、英國の對獨空襲なんといふものは無駄に等しい戰禍しか與へてをらぬ、それらの[illegible]によつてむしろイギリスの力は非常に衰へたとみるのが當然である、英國が[illegible]―マザ〳〵と示してゐると僕はみてゐる、イギリスがねばり强いとか、最後には勝つとかといふやうな宣傳をそのまゝ受取つてゐるのは過去のイギリスの上り坂時代の歷史だけをみてのことだ、そんな過大評價は間違ひだ英人自身は永年の全盛時代の夢を今もみてゐるから本當の運命に氣附かないかも知れぬ、それは沒落する者の常だ

來間 それは大東亞戰爭における英國の正體をみただけでも分りさうなものですがね

〃樞軸側有利〃

白鳥 おめでたい人が多少ゐるんだな、なるほど今アメリカは全力を擧げて戰つてゐるし、ソ聯も思つたよりよく[illegible]つてゐるのでこれはドイツの苦戰だと一應考へる向もあるかも知れぬ、またヒトラー總統が、今度の大戰はもつと早く濟むと思つて開戰したことも事實である、フランスについては豫言通り四十日で潰したけれども、ソ聯については多少誤算したと思ふ、それは永年ロシヤをみてゐて歷史的に一種の輕侮の念がドイツ人にあつた、ところがロシヤの赤軍が意外に强かつた、ヒトラー總統がソ聯と開戰した時には、一擧に潰せると思つたらしいが、あの冬の抵抗ぶりを見て『これは誤算があつた』と總統自身公開演說の中に述べて、長期戰の覺悟を示してゐる、イギリスはもう大したことはないといふ見透しはついてゐるし、アメリカといへども一方に太平洋で日本と戰はねばならぬからあまり大きな力をヨーロッパ戰線に持つて來ることはできないから先づソ聯を叩く、それには先づソ聯の資源を取つて長期戰態勢を整へるため今年はモスコーやレニングラードには手を附けずに資源の豐かなコーカサスに作戰したのである、それに小さな誤算はドイツ側にあつたかも知れないが、現在のドイツ側は必ず勝てるといふ自信を持つて戰つてゐる、日本がそれを悲觀的にみるなどといふのはをかしな話で樞軸側は現在も勝つてゐるし、將來も時が經てば經つほど有利になつて來る

來間 イタリーについてもかれこれいふ者がありますが

白鳥 僕からみるとイタリーは意外に善く戰つてゐると思ふ、イタリーは開戰當時からドイツは少し違つて、ムッソリーニ首相をはじめ首腦部が今度の大戰は長期間になるものとみてゐた、イタリーは物の不足な國だから一擧に力を出し切るわけに行かぬといふので、そのつもりで準備し、作戰もした、そのためドイツのやうに華々しい成果はあげてゐないが、獨ソが戰つてゐる間はイタリーが地中海周邊を一手に引受けて英國の地中海艦隊に對抗してゐるのはなか〳〵偉いものと僕は思つてゐる、今までの成果や戰果をみても立派な成績である、最近英米が北アフリカに力を入れ出したのでイタリー國民の士氣は却て大いに振つて來たと僕は聞いてゐる、のみならずフランスのダルランなどといふ者が信義に背いた行動を取つたので獨伊はもはや今までのやうなフランスに對する遠慮は要らない、從來イタリーは地中海方面のコルシカ島やチュニスについてフランスに對する要求を持つてゐたが、今や遠慮なく永年の希望を達成し得る時機に到達してゐる、また米英が北阿にあゝいふ不法の戰略を行つたゝめにスペインあたりの決意も固くなつて來た、米英の方は後方連絡線が長くて輸送に困難だが獨伊の作戰は樂だ、北阿の戰爭は今後曲折はあるにしても樞軸側に何等憂慮すべきものなしと僕は信じてゐる

來間 さういふ御見解、いな事實をもつと國民一般に知らせる必要がありませう

東西の戰爭は一つ
全面的勝利あるのみ

〃東西勝利〃へ

白鳥 ヨーロッパの情勢と大東亞の戰局を睨みあはせてみてすべてが非常に都合よく運んでゐるといつてよい、アメリカは今北アフリカに送つてゐる十五萬位の兵力では到底いかぬから次々にもつと增派するだらうが增强してみても戰ひは非常に困難で、きつと米英軍が不利になる、アメリカが有るに任せて世界の全艦へ全力を擲つてくれゝば日本に取つては結構なことぢやないか、しかしここで特に諸君の注意を喚起したいことは『ヨーロッパの戰爭はヨーロッパでやれ、日本は大東亞戰爭に勝てばそれでいゝのだ』といふやうな考へは根本的に間違つてゐるといふことだ、この東西の戰爭は一つである、ヨーロッパだけの勝利とか、アジヤだけの勝利といふことは有り得ないのだ、勝利は全面的でなければ勝利とはならぬ、之を忘れてはいかぬ

來間 先ごろアメリカの生産力が非常に大きいやうに發表されてゐたがあれは少し藥が效きすぎた嫌ひはないでせうか

白鳥 いはなくてよいことだらうね、日本人の大部分はそんなことを聞いてもピクつきはしないが、アメリカを喜ばすことになるから面白くない、ルーズベルトの狙ひは米國民を安心させるにあるんだから、その術中に陷らぬやうにせねばならぬ、アメリカみたいに映える丈は强さうにみえるけれどもこちらはピクつくに及ばぬ、日本の陸海軍は沈默を續けて來たので彼等はとかく日本を見縊りがちだ、日本の生産力が微少だと思つてさういふ發表を米國民にする、これを聞へ聞く日本人までが心配するとしたら滑稽だ、日本人は嚇々たる自信を持つて軍を信賴し、一意生産に勵めばよいのだ、アメリカの數字など話さない方がよい、一家の中でも子供に對して家計の話などするものぢやない、子供には『身體を丈夫にせよ、學校へ行つて勉强しろ』といへばよい、家計のことは家內とだけ話合ふべきものだ、だから生産力の數字なども知らせる必要のある向きだけにそつと知らせるのはよいが、一般に知らせる必要はない、その外空襲や物資などについても民心を動搖させるやうなことはいはぬがよい、大東亞の國民にも不安を抱かせてはいけない、事實彼らに不安を抱かすやうな理由は決して日本に存在せずと私は確言する、それどころか僕は現在のやうにこんなよい條件で戰ひ得るとは想像しなかつた、御稜威のもと、皇軍の忠勇無比の働きによつて僅か三ケ月で世界最大の資源たる大南洋圏を所に日章旗を翻かせたではないか、元來英米派の僕でさへこれほど迅速に大東亞共榮圏が實現するとは豫想してゐなかつた、アメリカが力を東西に分散してゐる間に逸早く大東亞資源を開發して生産力を殖やしつゝ戰へるのだから日本としてはこれ以上註文のしやうもないほどよい條件である、アメリカの生産力は大きいけれどもその力が全部日本に向つて來てゐるのでない、心配無用だ

來間 南洋各地の軍政下の狀況も始終おきゝになつてるでせう

〃新支那建設〃

白鳥 うまく行つてゐると聞いてゐる、石油を初めいろんな物が豫期した以上に餘計手に入つたやうだ、建設は着々と進んでゐる、それに各地の原住民が日本に協力してゐるといふことが非常に大きい力だ

來間 そんな意味からいつて日支事變はなるべく早く全面的和平となるのが願はしいですね、むろん日本側が和平を焦る必要は少しもないけれども、出來るものなら全面和平になる方が對米英戰には算術的に有利ですね

白鳥 實際に日本と支那とが今戰爭をしてゐるのは馬鹿げた話だ、今では日支戰ふ原因がなくなつてゐるのだ、はじめから英米を東洋から追つ拂ふのが日本の目的だつた、さうして今や米英の牙城を衝いてゐるのだから支那と戰ふべき理論は消滅した、いな今日こそ過去百數十年東洋全體を、いな特に支那を苦しめ拔いた英米勢力を叩き出して大東亞圏の有力な一環たる新生支那を建設すべき絶好の機會だ、そのためには日本と協力するのが唯一絶對の道だ、それなのに支那の一部が大東亞建設を妨げるなんて馬鹿な話だ、元來支那は物のない國なんだ、日本と一緒に南方を開發すればアジヤ十億の民が消費して有り餘るほどの物があるぢやないか、今日日本は何も支那に求める物はない、そこで私は日本は支那に對して出來るだけ寬大な條件を許してよいと思ふ、今日になつて何もこだはることはないではないか、北支の鐵、石炭なんといふ僅かばかりのものは日支共同で使へばいゝぢやないか、そのほか何を求めるものがあるか、從來の古い經濟觀念から支那を市場として非常に重くみたものだが、それも今日では外國貿易といふものが要らなくなつたのだ、今や市場としての支那も要らない、必要なことは支那四億の民の心を摑んで日支協力で南洋を開發することだ、しかも支那は大東亞の資源を開發するに必要な勞力を最も多く持つてゐる、この勞力を持つ支那が大切なんだ

〃前途明るし〃

來間 あなたの話は非常に明るい

白鳥 僕はことさら明るくいつてるわけではない、事實さうなんだ、今よく人が物が足らぬといふが之は戰爭には一時的に必ず起る現象だ、これは今後一二年の間には必ずあまり苦しむことなしにやれるやうになると僕は確信を持つてゐる、現在の日本は要るものを悉く手に入れてしまつた、もうこれを奪還される氣遣ひはない、大東亞の新秩序といふことは既成の事實なんだ、それに拘らず古い觀念を清算し切らぬと無用な心配なんかすることになるんだ、例へば財政にしても從來のユダヤ財政理論で行けば不安かも知れないが國際金融本位のユダヤ理論は、世界戰局の事實によつて葬り去られたのだ、大東亞の地域、世界無比の大資源、これを開發する十億の人口などからいへば日本の諸國だけでも三千億や五千億の公債など平氣で出していゝ筈だ、根本にはそれに見合てる物があるんだから日本の基礎は大磐石である、そりや一切放任しておけばインフレが起るかも知れないが適當な統制を行へばインフレの心配はない、舊時代の觀念をサラツと投げ棄てれば世界新秩序の前途が明るく輝しく目に映じてくる、[illegible]んでわれわれは新秩序の完成に胸を張つて働くことが出來る

荒天怒濤をついて北太平洋を征くわが巡洋艦（海軍省許可濟第五七一號　田中特派員撮影）

朝鮮神宮の歲旦祭

年頭に當り皇國の彌榮を壽ぎ、國民の新しき覺悟を神前に誓ひ奉る歲旦祭は元旦午前十時から朝鮮神宮大前において嚴かに執行された 小磯總督、中樞院顧問伊東致昊氏、李王職長官李恒九男、波田聯盟總長、貴族代表李圭元子、文官代表新貝司政局長、武官代表皆川少將、淸水陸軍、松本海軍兩大佐、高京畿道知事、古市京城府尹ら多數參列 祭典は中祭式をもつて行はれ修祓開扉の儀より獻饌、序で額賀宮司は祝詞を奏上、大東亞戰二回目の新年に際し半島二千四百萬の必勝に凝れる銃後の決意と決戰體制への誓ひを奏上、かくて謹眞に身を慤めた小磯總督の玉串奉奠、ついで伊東致昊氏、李恒九男、波田聯盟總長、李圭元子、新貝司政局長、皆川少將、高知事、古市府尹、宮司らの玉串奉奠があつて同十時四十五分[illegible]

總督府の四方拜式

大東亞戰爭下紀元二千六百三年の新春を迎へて總督府では第一會議室で四方拜式を擧行した、午前十一時廿分より軍裝凛然たる小磯總督をはじめ各局課長、第一次所屬官署の長ら高等官一同、同十一時卅分より判任官一同それ〴〵天皇、皇后兩陛下の御眞影を奉拜、天壤無窮を祈念、盡忠報國を誓つた、それより一同大ホールに參集冷酒を汲み新春勇躍に當り皇國の彌榮を壽いだが、同十一時四十分小磯總督の發聲で萬歲を奉唱、感激を一しほ深くして散會した

必勝の春

富安風生

必勝の門松を貼り草の宿
門松を貼りたる町に靠々と雪
破魔矢もつ子よ水兵の肩に乘り
水兵もともにもまれて初詣
一億のこころに藪の梅かたし

總督府の新豫算
最終決定は四、五日頃

【東京電話】總督府十八年度豫算については水田財務局長、奧村司計課長等が十一月相前後し上京、大藏省その他關係方面と折衝中のところ、舊臘卅一日夕刻大藏省より最初の査定があり、財務局では局長以下同日夜十時までその對策を講じた後一日午前五時まで徹宵復活要求案を作成、同日午後奧村課長は大藏省に赴き同省主計局に對し交渉を行つたが、第二次、第三次の査定及びこれに對する復活要求が行はれ最終決定を見るのは四、五日ごろと見られ閣議に附議されるのは七、八日ごろとならう 而して本豫算に對しこの大藏省の方針は物資と資金への極めて高度な戰時重點主義を取るのは勿論官吏の增員に對して一人の增員も認めぬとの建前を堅持してゐるので現業方面に對する極めて少數の增員しか期待されぬ狀況である、而して小磯總督の行はんとする新施策に對しては大藏省も既に諒解してゐるのでこれに對しては財務局も樂觀的態度を持してゐるが、何れにしてもこゝ二、三日間の交渉如何が豫算決定に對し重大な影響を齎すものとして注目されてゐる なほ十七年度追加豫算案並に十八年度追加豫算案の一部もこれと併行して折衝が進められてゐる

梧州猛爆

【〇〇基地卅一日同盟】わが陸軍航空部隊の精鋭は卅一日午後廣西省梧州に爆擊を敢行、同飛行場ならびに軍事施設に巨彈の雨を降らせこれを爆碎した、この日〇〇基地を出發したわが戰爆連合の大編隊は折からの亂雲をついて敵飛行場上空に殺到、急降下爆擊により滑走路を完全爆碎するとともに附近のガソリンタンクに必中彈を浴びせ、また他の一隊は同市外の軍事施設に巨彈を見舞ひ大損害を與へ全機歸還した

戰ひ拔かん大東亞戰
寶貴の保險
相互組織
千代田生命

獨空軍、カサブランカ空襲

【ベルリン卅一日同盟】ドイツ軍司令部卅一日發表＝チュニジヤ戰線においては兩軍の砲兵戰やうやく熾烈を加へ、敵は諸要點から撤收した、獨空軍の長距離爆擊機編隊は三十日夜長驅カサブランカを爆擊し、また東地中海においては獨潛水艦は英驅逐艦一隻ならびに運送船三隻を擊沈した

【ベルリン卅一日同盟】獨軍司令部は卅一日公表をもつて獨長距離偵察爆擊機隊が卅日夜長驅佛領モロッコのカサブランカを空襲した旨發表した

北方水域で海戰

【リスボン卅一日同盟】ロンドン來電＝英國海軍省は卅一日夜『目下北方水域において海戰が繼續されてゐる』旨發表した

貨物船卅一隻擊沈
獨水上艦隊の戰果

【ベルリン卅一日同盟】獨軍司令部は卅一日公表をもつて獨水上艦隊が過去數ケ月間に各海上において敵貨物船卅一隻、十八萬七千トンを擊沈した旨發表した

佛領ソマリーランド新總督任命

【リスボン卅一日同盟】ジブチ來電によれば反樞軸のフランス軍のソマリーランド侵入に伴ひ、その傀儡總督として元ニューカレドニヤ總督アンドレ・バヤルドルが任命されたと傳へられる、バヤルドルは一九四〇年アメリカ、ドゴール軍のニューカレドニヤ不法侵入に際し、反樞軸軍に身を投じたものである

英の落下傘部隊を逮捕

【ローマ卅一日同盟】イタリー軍司令部は卅一日次の戰況公表を發表した シルテ地區においてはイタリー軍戰車部隊の活躍によりイタリー軍はイギリス落下傘部隊を捕虜とした、チュニジヤ地方においては敵軍は猛烈なる樞軸軍の砲火のために諸陣地を放棄退却した

米軍ダカールへ

【リスボン廿九日同盟】モロッコ放送によれば米軍第二部隊は廿九日ダカールに到着、飛行場を占據したと傳へられる

靖國神社參拜者の群

【東京電話】來り迎ふ皇紀二千六百三年 護國の英魂永久に鎭まる靖國の社にはこの往き年を忠魂とともに護る征戰完遂の國民的決意を神の御前に誓ふ參拜者の群が大晦日の暮から夜を徹し曉にかけて絶ゆる間もなく、世界新秩序建設へ驅動の戰ひに邁進する國民の雄々しくもつゝましい赤誠に神域は擦つた

新春の繰上閣議

【東京電話】政府は本年の初閣議として五日の定例閣議を繰上げ四日午前十一時より首相官邸で開催することに決定、なほ八日の定例閣議はこれを繰上げ七日午前十時から開催する

坪上大使東上

【バンコツク卅一日同盟】坪上大使は日泰攻守同盟一周年を祝賀するため上京歸朝中であつたが、一日空路東上することになつた

新刊
主婦之友社長 石川武美著
わが愛する家庭
定價一圓八十錢
前田青邨畫伯裝釘 入特製本
『主婦之友』發刊以來三十年、日本の家庭のために働きつゞけた著者が、戰時日本の家庭にさゝげる愛國至誠の書！健全幸福な家庭は、主婦だけの力では築けない、夫婦の深い理解に基く協力によつてのみ求め得ることを、實行によつて示したのが本書の特色である。決戰下家庭に推奬！
（目次の一部）[illegible]
好評
石川武美著 わが愛する生活 一圓八十錢
大森洪太著 明けゆく空 一圓八十錢
本多靜六著 幸福なる生活 一圓六十錢
★どうぞ今すぐ御近所の書店で御求めください
東京・神田 主婦之友社

戰時新語辭典 野田照夫著 定價一圓 送料十錢
法律、政治、經濟、外交、文化、社會、軍事、其他各方面より戰時下重要の新語、時局語を集め簡明な解說を施したもの、南方地名沿革を附錄す。
法律經濟語辭典 野田照夫著 定價一圓三十錢 送料十錢
各種の試驗に出た法律經濟語並に重要語を集め通俗に流せず難解に偏せず初學者にも解り易く記憶し易く簡明に解說す。受驗用最新絶好の辭典なり。
公益優先 經濟學通解 野田照夫著 定價一圓 送料十錢
公益優先の經濟理念に基き經濟學の原理原則を初學者にも解り易く簡明に解說する絶好の書
憲法答案集 價一・〇〇
行政法答案集 價一・〇〇
民法答案集 價一・〇〇
刑法答案集 價一・〇〇
國語問題通解 價一・〇〇
受驗算術精講 價一・二〇
受驗作文精講 價一・〇〇
朝鮮行政法答案集 價一・〇〇
朝鮮普通試驗答案集 野田照夫著 定價二圓 送料二十錢
本書は最近十年間朝鮮普通試驗に出題された憲法、行政法、民法、刑法、經濟學、國語、算術、地理、歷史の問題に模範解答を施したもの、朝鮮普文受驗者絶好最新の指導書。
普文普通試驗案內書進呈
東京市澁谷區初臺町五三九 振替東京八一六九九番 法學書院

大洋 新年號 定價四十錢
特輯 戰ふ日本海軍座談會
珊瑚海雷擊戰記
われらの海軍は世界の海で戰ひつゝあるか！われらはこれについていかに知らねばならぬか
賣切近し！即刻書店へ！
★緒戰より本格戰へ…平出大佐
★航空母艦論…富永少佐
★內線作戰…齋藤忠
★勝利への道…前原光雄
★地中海戰と大東亞戰…一色中尉
★戰ふ航空母艦…牧島貞一
その他海洋記事滿載
ソロモン群島地圖
東京市麴町區內幸町 振替東京一七六〇三 文藝春秋社

文藝 新年號 定價七十錢
評論
進步の觀念について…中野好夫
近代に於ける藝術の理念…大山定一
藝術論爭について…杉山英樹
アメリカ…芳賀檀
隨筆
井上司朗　津久井龍雄　[illegible]原太郎　今日出海
【座談會】戰爭と作家
谷萩那華雄　尾崎士郎　阿部知二　榊山潤　神保光太郎　加藤武雄
詩＝尾崎喜八　神保光太郎
文藝手帖
文藝報國新人小說 第一回募集
武魂…榊山潤
向ひ鶴…舟橋聖一
歸心…北村謙次郎
旅人…三田華子
東京市芝區新橋七 振替東京八四〇二〇 改造社

社說 初春に贈る親切觀念

一

正月の祝ひは個人々々によつて、種々雜多であることに不思議はないとしても、今は決戰下であることを銘する祝ひであることも必至でなければならぬ。しかも國民總力朝鮮聯盟が一月の實踐事項として掲げたことの一つに、笑顏を以つて親切につき合ふべきことを指摘してゐるのは、初春らしい和やかさを湛へながら、凡ての瞬時を切り拔けて行く上に於て、國民の最も必要な構へを說けたものとして、今一應玩味しながら、これを實際に移して行くことを、新春劈頭に誓ふのも愉快なことでなければならない。

二

いはゆる親切といふことについては、曩に親切運動といふやうなものが提唱されて、社會各般面において、互に親切に相對して行くことを高調したことがあり、當局者の側から見れば、なほ所期の成果に對しては、若干の物たりなさがあつたやの說も出たが、それでも一般的には相當のなじみによつて、日々の生活が快適の感を添へたことは爭へぬ事實であつた。しかも當時と今日とを比較すれば、戰爭そのものゝ樣相も次第に激化し、從つてそれが銃後に及ぼす影響もまた多分に加はつて來たことは見逃し得ず、率直にいつて銃後生活が荒び行く傾きさへ看取されるに至つたのである。

三

例へば物資の配給關係にしても、交通機關に對する態度にしても、徒らに尖鋭化せる風潮を前提として、當然に圓滑なるべき關係までが歪曲せられ、それが時局故に强ひられた必然の歸趨であるかに前提されるに至つたのは何故であらうか。即ち自己が先に立つて、公共のための道義といふことが忘れられてゐる結果であつて、持つ者と持たざる者との關係が、數年前に比して逆轉したやうに見えるのも實はこの觀點に立脚してゐるからである。昭和十七年が武力戰であつたに對し、昭和十八年は總力戰でなければならぬといはれてゐる時、この點は特に反省せねばならぬ點である。

四

われ等は過ぐる日の親切運動實施によつて、その實際とは別に、親切といふことが如何に必要であり、かつ如何に有效であるかを知つた筈である。然もその間の親切が、いはゞ一般時間のための親切であつたに對し、今新たに取り上げられた親切は、それが直接戰爭に結びついた生活態度であることを考へて、一億互に手を携へ、心と心との結合を强固にし、それによつて敵米英の謀略と戰意を自滅せしめ、敵國家の崩壞に參加するの信念を持つべきであり、事は甚だ身近であるが、それだけにわれ等としては實踐の可能なる銃後態勢整備でもある點に鑑み、總て相整へたる親切を以て、銃後生活を明朗健全ならしめることを誓はうではないか。

半島の精神基地に響く 聖なる建設の槌音
神々し扶餘神宮の御造營捗る

【扶餘にて直島特派員發】聖地扶餘！一千三百年のその昔、七十萬の人口と絢爛たる大陸文化の粹を誇つた百濟城も第卅一代義慈王廿年九月七日(天智天皇二年)唐羅城の陷落を最後に全く滅亡の哀れをとゞめた、爾來星霜移り變りこゝに再び扶餘の名は歷代の脚光を浴びてわれ等の眼前に大きく甦へり半島二千四百萬の精神基地として聖なる建設の槌音は聖域の翠綠に映えて威勢よく響かられる、過ぎし昭和十四年六月十五日、畏くも玉葉の御身を以て百濟に…謨を垂れ給ひし應神天皇、齊明天皇、天智天皇、神功皇后の神々御四柱を祀る〝官幣大社扶餘神宮〟御造營の旨仰出されるや半島民衆の感激は一入深く當時既にわれ等の祖先が血と血を以て護りし內鮮一體の麗はしい史實に自ら胸をうたれるのである、記者はいま感激極まりなき聖域扶蘇山の頂に立ちて決戰第二春の大らかな息吹きと共に眼前に展開する神都扶餘の建設譜を手繰つてみよう…

=御神殿= 聖域は扶蘇山をとり卷く約卅萬坪、神殿の御鎭座所は此中央扶蘇山の南面中腹に位し昨春來着々と一大洞口を開鑿しカリツトを使用する大爆發を敢行、此の轟音一發を合圖に神苑面積一萬坪の地均し工事はスルくと進み早くも九五%の進捗をみた、建築物も神祇院角南技師の指導設計により既に準備を完了してゐる、いまその規模を窺ふに建物は本殿、祝詞殿、左右祝殿、登廊渡殿、內院殿、拜殿、翼廊、神庫、神饌殿更に附屬設備として樓門、脇門、外廻廊、貴賓殿、勅使館、宿泊舍、參拜人休憩所等が豫定され建築樣式は木造丹塗り屋根、本殿銅板葺造りで宇佐神宮と同じく神功の隣は神域の翠綠と調和して莊嚴無類なお宮が出現する、なほ御用材もすべて臺灣阿里山の檜を用ひるが海軍の協力によつて既に昨夏江景邑に到着し挽材製材にとりかゝつてゐる、神域內の事業は本府直轄で行はれ國費百五十萬圓、奉贊會二百萬圓である

=林苑計畫= これも斯界の權威本郷博士の直接指導によつて計畫が樹てられ植樹、獻木等準備も着々進みつゝあるが少くも植樹十萬本以上を要する見込みである、また現存する扶蘇山の綠地の保存についても忠南道に於ては十六、十七年度二ケ年に亘つて害虫の驅除、樹木の施肥等萬遺憾なきを期してゐる

=市街地計畫= 扶餘が天下の聖地として發表されるや總督府では昭和十四年七月三日『扶餘市街地計畫委員會』を開催、越えて同年十月卅一日土地區劃整理施行面積及び街路區域決定の告示をなしその外容も初めて公にされたそれによると現在の扶餘面及び鎭江對岸の窺岩面一部を含む一千三百卅八萬坪に及ぶ廣大なものであるが、忠南道ではとりあへず昭和十五年度より廿年末までの五ケ年計畫の下に工費八十萬圓をもつて前記面積の內卅六萬九千七百餘坪を整理し宅地造成に乘出した、昨年末を以て新市街西南部の廿萬坪はほゞ竣功に近く重要街路も都邑に相應しい綠地帶を隨所に設け平和させた森嚴崇高なる都市の形態が整備されつゝある

=上下水道= 市街美の要素をなす下水設備にあつても工費廿五萬圓(內國庫補助廿萬圓)を投じて昨春來着工する一方上水道も十五萬圓(國庫補助五萬圓)を以て昭和十六、十七年度二ケ年計畫の下に工を起したが資材入手の關係で工程は遲れ十八年度には通水の運びである、この計畫によれば給水人口五千であつて普及率三〇％とみて人口一萬五千までの給水は可能である

=防水施設= 曾ての扶餘は毎年雨季に入ると錦江の增水により市街が荒されるので神都としての威嚴を保持すべき總工費四十萬圓(全額國庫支出)を投じて舊市街から羅城(半月城の跡)を繞ぐ錦江岸に堤防二ケ所を築造し外水の浸入を防ぐと共に百馬力の排水ポンプ二台を附設し內水の排除にも備へてゐる

=參宮道路= 論山、扶餘を結ぶ延長一八、五粁を自動車專用道路とすべく既に工を起し目下着々進捗中である、昭和十九年度には完通の豫定であるが幅員七米、全面鋪裝を施すもので高速車道は論山、扶餘間を僅か廿分間で疾走し最大一日一萬人の交通量に備へ工費百十萬圓である

=百濟橋= 全工費六百六十萬圓を計上し現在の扶餘と窺岩面を結ぶもので目下地質調査の施行中であり、その結果に基づいて設計に着手すべく準備を進めつゝある、橋の延長は八百五十米に及ぶ長大なもので完成の曉はこの雄大な橋梁が千古變りなき白馬江の碧流に映えて新しい名所の一つに加へられることだらう、その他神都扶餘をして風致的に飾る事業に梅林、栗林の造成、人參の栽培等が計畫されてゐる、すなはち梅の實、栗、人參等すべて往時の歷史に因んだものであり附近の綠化に役立つのみならず聖地參拜者の手頃な土產物として加工されるもので錦城山南麓の西麓に位置を選定し道山林課が中心となつて近く着手される

試みに昭和十五聖戰建設作業が開始されて以來全國各地から勤勞奉仕に訪れた奉仕者は延人員にして七萬八千八百八十一名といふ驚嘆らしい數字に達してゐるがこれらはいづれも敬虔な態度で聖汗作業に欣びを感じ心から建設に赤誠を捧げる〝神の子〟らであ、かくして將來も續くであらう幾萬、幾千萬かの奉仕者の汗と約一千萬圓に垂んとする國費で〝神都扶餘〟の建設は雄大莊嚴に一歩々々と進められてゆくのだ

寫眞=(上)神域の全景 (中と下)作業に聖汗を流す奉仕隊員【直島特派員撮影】

朝鮮經濟の決意【上】
皇紀二千六百三年を迎へて
鈴木武雄

一

客臘十二月八日、再びめぐり來つた大詔奉戴一周年の記念日を以て、大東亞戰爭は帝國の赫々たる戰勝下に愈よ第二年目に入ることゝなつたが、いま皇紀二千六百三年の新春を迎へて、曆年の上から算へれば、大東亞戰爭はまさにその第三年目に入つたのである。今年は西曆でいへば一九四三年であるから、アメリカ軍需工業生產力の上昇カーヴが最高點に達する年であり、ルーズベルトの呼號する對日總反攻の機が熟する年である。太平洋上世紀の大決戰を孕んで、まさに山雨來らんとして風樓に滿つるの概ありといはなければならぬ。

アメリカが對獨戰爭第一主義のその根本戰略をば對日攻擊第一主義に轉換し、主戰場は太平洋にありとなして昨夏以來ソロモン群島周邊に執拗な反攻を開始し來つた所以のものは、思ふに、我が國による大東亞共榮圏建設の着々たる成功的進捗であり、それが戰力乃至國防力の計り知れざる增强であらう。即ち、日本攻擊をあとまはしにして悠々してゐたら、その間に大東亞共榮圏が完全に出來上つてしまふから、最早日本打倒の機會は永久に喪はれる今にして日本を叩たずんば…といふ焦燥感が、敵を驅つて對日攻擊第一主義への戰略轉換を餘儀なくせしめたのである。

この樣に考へて來ると、敵側のこの戰略轉換こそは、その總戰力を恃んで『長期戰と最後の勝利』を謳歌してゐた米英が、今やその一枚看板であつた『長期戰と最後の勝利』に對する自信を喪失し、求めて早期に決戰を挑まんとする血迷つた態度といはざるを得ないかくて『長期戰と最後の勝利』は今では明かにわが方のものとなつたのであるが、それだけにわれわれとしては、長期戰をば戰ひ拔くべからざる運命的なものとして前提するのでなく、長期戰に自信を喪つて血迷つた敵の總反攻をば、文字通り『飛んで火に入る夏の虫』の如く殲滅的に粉碎し、是が非でも最後の止めを刺さずんばやまざる旺盛な、積極的決戰の燃ゆるが如き鬪魂をこそ必要とする所以があると信ずる。

鈴木武雄氏

これがため銃後のわれくに要請せらるゝところのものは『銃後も亦戰場』の意氣を以て、一切の活動をば戰力增强のたゞ一點に結集することでなければならない。而して敵がその完成を最も怖れてゐるところの大東亞共榮圏の建設をば一日も早く達成することこそこの戰力增强に具體的內容を與へるものといふべきであらう。

二

大東亞共榮圏の建設を云々する場合、往々世人の間には、新しく編入せられた南方圏のみを頭において、南方に赴くのでなければ大東亞共榮圏の建設にたづさはることにはならないと考へる者が無いでもない。しかしこれは非常な誤謬であつて、我々としては所謂南方要員として任命された場合は、勇躍南方現地に赴き直接開發の仕事に從事しなければならないのであるが、假令南方に赴かなくとも、我々日常の職域における活動は悉く大東亞共榮圏の建設といふこの高き理想に繋がつてゐるといふことを自覺しなければならぬ。蓋し大東亞共榮圏は單に南方圏のみを以て構成せられるのではなく、我々が現にその職域を奉ずるこの朝鮮をも含めた所謂北方圏との有機的綜合によつて始めて構成せられるものであり、而も思想的、國防的、政治的、經濟的その他あらゆる觀點より見て北方圏こそは大東亞共榮圏の軸心的部分に他ならないからである。そしてこの朝鮮半島は、大東亞共榮圏の軸心部分をなす北方大陸圏の、そのまた中心をなすものであることを知らなければならない。

筆者紹介 鈴木武雄氏は兵庫縣の出身、大正十四年東大政治學科を卒業、昭和三年四月城大法文學部助教授、次いで同敎授となり現在經濟學第二講座を擔任、半島における統制經濟の泰斗として知られてゐる

府民擧つて總構へ
兵站基地の任務達成
京城府尹 古市進

旭日瑞々として天地を照し瑞氣靄々として乾坤を被ふ。茲に光輝燦然たる興隆の氣に燃ゆる大東亞戰爭第三年の新春を迎ふるに方り百三十萬府民と倶に謹みて聖壽の萬歲と皇室の彌榮を壽ぎ奉り、國運の隆昌を祝福し皇軍の武運長久を祈念するは、我等皇國臣民無上の光榮として年頭の感激一入深きものがある。

顧ふに昭和十七年は國の內外を通じ開闢以來曾て有らざる重大難局に直面しつゝも幸に世界史轉換の重大使命に巨大な第一歩を印したが本年はまた更にこれを決定的なものたらしむるため總力の決意を以て重大局面に對處しなければならない。即ち歐洲にあつては獨ソ戰は愈よ熾烈を極め戰局は樞軸軍の沈着冷靜によつて急速なる進展を見たりとはいへ、米英軍の北阿不法侵入によつて更に新戰局を展開し、その決戰期も遠からざるものと察へられてはゐるが、これを契機として今後更に擴大されるであらう新戰局は今遽かに豫測を許さぬものがある。

一方東亞にあつては大御稜威の下天佑神助と皇軍將兵の勇戰敢鬪により世界の耳目を聳動せしめた史上未曾有の大戰果を擧げ、那邊き敵に對して難攻不落なる大東亞共榮圏を確立し、同時に廣大なる大東亞の全域に亘り帝國を中心として共榮圏建設の巨步を進めつゝあること周知の如くであるが、敵米英は尨大なる資源を擁して久しきに亘り世界の霸權を握り來つた大國であつてみれば更に驚天動地の大反攻あることを覺悟せねばならない。

窮々世界を兩分せる日獨伊以下の樞軸國と米英以下の反樞軸國家群との對戰、喰ふか喰はれるかの決戰は愈よ本年を以て第三年に入つたものといふべく、時局の重大性は更に加重されたものといはざるを得ないのであつて、而も大東亞戰爭が歐洲戰爭と不可分の關聯性ある必然の結果、時局の前途は益々多難にして國力の增强は益々緊切不可缺といはねばならない、畏くも今次第八十一議會の開院式に賜りたる勅語に

『朕カ外征ノ師ハ廣汎ナル地域ニ亘リ萬難ヲ排シテ隨處ニ敵ヲ擊破シ威武ヲ宇內ニ宣揚セリ而シテ友邦トノ盟約ハ益々固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ今ヤ戰局重大ナリ宜シク億兆一心益々國力ヲ增强シ敵國ノ非望ヲ破碎スヘシ』

と宣はせられてゐるのは、これが故と拜察して恐懼感激に堪へない。一億國民は鐵石の團結を以て凡ゆる困苦に耐へ必勝不敗の信念を堅持して一意國力の增强に力め叡慮を安んじ奉らんことを期せねばならない、またさきに發表せられた詔書には

『朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ』

と諭させ給うてゐる。宜しく聖旨を奉戴し各自の職域において赤誠を披瀝して臣道實踐の實をあげ以て叡慮を安んじ奉るべきであつて、これこそ今後に處すべき我等の覺悟でなくてはならぬと思ふ。

二

顧つて我が半島は大陸前進兵站基地として重大なる使命を有し、官民擧つて一丸となり、總力を結集し、總立體制への力强き運動により銃後陣營の强化に邁進しつゝあるのであつて、國民皆勞體制の實施、九億圓貯蓄の達成、生產の擴充等凡ゆる計畫着々として進捗し、その成績また頗る見るべきものあるは一に當局の企畫指導宜しきを得たる結果であると共に一般民衆の自覺に俟つところ大なることはいふまでもない。

我が京城府は幸にして逐年躍進の一途を辿り內地六大都市に比肩するに至り曠古の決戰體制下克く半島の首都たる重大使命を果しつゝあることは偏に府民各位の熾烈なる愛府觀念によるものであつて衷心感謝に堪へない所である。特に昭和十七年度においては根本國策たる高度國防國家建設に最高指標を置き府民の總動員、生產力の擴充、物資、物價の需給統制、財政の保護育成並びに福利施設の改善、首都防衛施設の擴充强化等時局下最も緊要なる施設事業に重點を置き體制の編成をなしたのであるが時局下資材勞力等の入手極めて困

難の裡にありながら概ね豫定計畫通りの進捗を見たのは實に欣快とする所である。

併しながら諸種の施設、事業の多くについては尚今後の努力に俟つ所が尠くないのであつて不肖圖らずも乏を京城府尹に承け淺學非才その重責に堪へざるを懼れてゐる次第であるが、幸ひ上司の指導と府民各位の協力支援を得て克く國策に即し時局に應じ得る府政運營の完璧を期したいと思ふ。

茲に新年に際し聊か所懷の一端を述べて賀詞に代へ、輝く戰捷を萬代不易の決定的なものたらしむる決意を新たにすると共に、我が敬愛する京城府民各位の健鬪を祈念して、年頭の辭と致したいのである。【寫眞=古市府尹】

覺悟も新た 新京の拜賀式

【新京電話】大東亞戰爭第二年目を迎へた國都新京の元旦は凍てつく黎明の滿天下、新京神社は國都隣組と戰捷祈願の市民で身動きも出來ぬ雜沓のうちに嚴かな戰勝祭が執行され、午前九時からは關東軍司令部において拜賀式を擧行、武部總務長官をはじめ在京日滿官廳首腦部が威儀を正して列席、武部長官一同を代表して梅津關東軍司令官兼全權大使に對し賀詞を述べ後高等官食堂にて祝杯を擧げて式を閉ぢた

なほ關東軍司令官兼全權大使は午前八時建國神廟に參拜、午前十時卅五分帝宮に參入、皇帝陛下に對し賀詞を捧呈した

この日國都各機關では新年拜賀式を擧行、官廳を勇んで征戰第二年目も勝ち拔く覺悟を新たにし新京神社、忠靈塔、建國忠靈廟は早朝から終日參詣の市民で賑はひ、緊張の氣分が全市に漲つてゐる

安田、日本晝夜 兩行合併成立

【東京電話】大藏省では安田銀行日本晝夜銀行の合併に關し卅一日左の大藏省談を發表した

かねて安田銀行、日本晝夜銀行の間に合併談が進行中であつたが、今般これが成立を見るに至り當局ではこれが認可について內斷を與へた、右合併の趣旨は先般發表された大銀行の合併の場合と同樣であつて誠に時宜に適した措置と認められ金融界のためによろこばしき次第である、當局としてもその今後の發達については努めて援助を致したい考へである

隨想錄

光輝ある昭和十八年の元旦は空まつたく春めいて和み、微風は街々の門松と注連飾りをそよがせ、如何にも多幸なるべき一年の首途にふさはしいものがあつた。天照神祇、一億國民の決戰の祈りを嘉させ給ふと存ぜられる▲だがこのいやちこなる神の示現に對しては、あくまでも恐れかしこむところがなくては叶はぬ。心だに誠の道に叶ひなば祈らずとても神やまもらむとあるが、祈らずとても神の護りに、人間の我欲と思ひ上りのあるのを反省していゝと思ふ▲われ等は神國に生れて、神の護らせられたのを歷史で知り、大東亞戰爭で身に沁むほど經驗した。しかし、それは驕つて負ける狀態に國民の態度があり得たからであつた▲勝つに馴れて、戰ひは戰場だけに行はれてゐるものと考へたり、勝つてゐるのだから、物資がもつと豐かであつて好いと思つたり、國民が不自由してゐるのを知り乍ら食糧の供出を惜んだりする者が萬一にもあるとしたら神は護り給はぬ▲戰時乍ら、いゝお正月の出來たことを勿體ないとして、來年のお正月も斯くあらしめ給へと祈り、その祈りの心を以て、三百六十五日を撓みなく生き拔くことを、各自の心に約束したいものである▲それと共に、我等が屠蘇の盃をあげてゐる時にも、前線の將兵は戰ひ、あるひは敢然と護つてゐるのを深く思はねばならない、それあるが故に、和む空の下、心ゆくばかりの豐かなお正月を迎へ得たのであるから。

半島の史向 (2)
新しい朝鮮史への一試論
松田壽男

一口に朝鮮半島といつても、その內部は決して一樣な狀況にあつたわけではない。風土の上から、住民の點から、また歷史上から、それは、いくつかの部分に限つて觀察する必要がある。京城や開城を含む所謂中央部も考へられる。

今日の京義線や京釜線が通つてゐる慶尙道の地方も京義線が貫く地方も、湖南線を幹線とする地方も、また咸鏡線や東海線の鐵路に沿ふ地方も、それぞれ特異な性格をもちつゝ發展してきたのである。けれども、今の場合、それらを細かく述べたてる餘裕をもたない私は、やはり、あの鴨綠江の本支流や清川江、大同江などが深い谷を刻みつけてゐる北方の山塊から、南に迫り出す脊梁山脈を以て、半島を東西兩部に分ける方法に從つておかなければならない。

たしかに、この東西兩部は、半島の表裏とも譬へられるであらう。歷史的性格もまさしくそのやうに適つてゐた。脊梁山脈以東の裏側地帶は、北滿洲に屬してゐる。從つて松花江流域に見られた生活狀態が、その人種的淵源とともに、こゝでは、大きく歷史の上に浮かび上つてゐる。その古住民は、北滿洲の扶餘と同じ系統であつた。あの新羅の勢力を以てしても、その北境はやうやく咸興に達したにすぎない。降つて、高麗時代になつても、この方面は北滿洲の女眞に屬つてゐなければならなかつた。今なほ咸興の北に殘つてゐる黃草嶺碑は、そのやうな意味においても記念的である。

改めて說明するまでもなく、この扶餘や女眞は、あの渤海國を建てた靺鞨とともに、滿洲民族の歷史における代表者であつて、彼らは北滿の大森林にすむ狩獵生活者であつた。彼らの間からは、松花江畔の原野などに定着して農耕を營むものもあつたが、概していへば、シベリヤの古住民と同樣に、毛皮獲得を以て生活の基本としてゐた。扶餘の別派と見られる高句麗族が、彼らの始祖と仰いだ朱蒙は、善射者の意味であるといはれてゐるではないか。

不連續線 戰捷の春

『旅順が落ちた』『旅順港が陷落した』日本中は鬨のやうに沸いた。思へば卅九年前の一月一日のことであつたが、去年の一月二日は、アメリカ最後の對日據點マニラが陷落した日である。陷落とか占領とかいふやうに、外に現れたことは華々しいが、その前年の七月に大連に上陸以來、默々として五ケ月餘を戰ひ拔いた當時の第三軍の死鬪も、また、フイリツピンに猛攻また猛擊をつゞけた將兵の勞苦も、兎角に忘られ勝ちで來た。それでよい筈はない。省みて戒めなければならぬ點である。

京日歌壇

大邱 原本知長
向ひ風にわが息苦しさはあれどひたに走らむ男の子ぞわれは

京城 山村隆男
朝毎に木刀振れば力瘤腕に出でてちから湧き出づ

同
灰色の翅はかそけし蟷螂に法を學べどなじまずわれは
外套の襟にうなじを埋めつつまろき雀のごとく步むも

浦上規一
夜の窓に黑くうつれるわが影を今は唯一の友と思へる

同
取るところなき身とは思へわれもまた日本人なる誇りを持たむ

宮新二
四年前と同じさまして新義州の街は雪下の風なかにあり

同
凍結し終るも近き鴨綠江を橋の際より見てかへりたり

【雜詠】一月二十日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り▲京城日報社學藝部『京日歌壇』あて▲住所氏名明記のこと

[illegible]

中島奇信
百の樂の花さくら咲つきたしていくさかたりにふかす夜はかな

田中半次郎
あろり火をとりかこみつゝ宿かしし旅の翁師のはなしきくかな

佐藤政子
手すさびに栞をやきつゝ冬の夜をあかでかたらふ埋火のもと

新春映畫街 極付番組 軍配は何處に？

戰勝第二年の新春を迎へた映畫興行界は白熱の色濃い中にも國運を壽ぐ國民の明朗な氣分を反映して例年通りといふよりも、更に活潑に動いて居り、娛樂映畫としてかなり申分のない新作物封切を迎へてゐるが、京城封切館は二週以後の紅白兩系に準備中の作品にはどんなものがあるか

四日から紅系には大映の異色大作『成吉思汗』片や白系は東寶の一枚看板長谷川一夫の久方ぶりにやくざに扮して啖呵を切る『伊那の勘太郎』で前者が、規模雄大を、後者は痛快のいゝところで景氣よく呼びかける

十一日の第三週目紅系には東寶が特にお正月用の大衆娛樂に折紙付といふ…金語樓のコンビ版『山まつり梵天唄』と出れば、白系には松竹の純情乙女物水戶光子二役主演になる『二人姿』で受ける

十八日からの四週目は一寸趣向が變り三本立てになり、京劇では往年の名大作（？・）再檢討と洒落たわけでもあるまいが、新興の『北極光』を、このため同系の成績ではとつて置きの外國『希望音樂會』を獨占封切り日系には片岡千惠藏が五年振りで浪世人を演る、大映の『三代盃』を出す

先づ御相談申込みあれ 無料診察
耳 コマク入
偉大なり科學の力！ (新案二十年)
コマク破れの方に 耳鳴り難聽に
歐氏管治療器
大阪市港區四條通二丁目 (電築港九五八) エヂソン商會 東京支店

感冒
化膿菌・淋菌のみならず肺炎菌・インフルエンザ菌をも撲滅するテラポールの生體內殺菌作用は既に昨冬、感冒・肺炎・氣管支加答兒・扁桃腺炎・中耳炎等に廣く實驗せられて顯著なる治療效率を示したり。
特許ズルフオンアミド劑
テラポール錠
十錠 五十錠 100錠
東京・大阪 第一製藥株式會社

こゝも戰場だ
朝鮮セメント工業組合
朝鮮淺野セメント株式會社
小野田セメント株式會社
朝鮮セメント株式會社

カネミ絹
秋岡商會
京城府明治町一丁目

內臟外科・一般外科・肛門科
李鍾鎬外科
醫學博士 李鍾鎬
入院室完備

今日も決戰 明日も決戰
京城府太平通り二丁目一〇二
社團法人 朝鮮映畫配給社

明るい素肌を活かしませう
素肌美 ヘチマコロン
洗顏・入浴後に・お寢みの前に
本舖東京 株式會社 近源商店

全鮮の皆さん！戰ひ抜かう

小磯總督・新春の激勵の言葉

天の試煉を突破せよ　今こそ道義の實踐へ

『全鮮の皆さん新年お目出度う』――光輝みてる元旦の朝九時、小磯總督は總督官邸應接室から京城放送局のマイクを通じ全鮮二千四百萬半島同胞に『年頭に當り全鮮官民の決意を促す』と題して呼びかけた、底力の籠つたあの聲がいつもの通り諄々として流れ出て來る、聖國の有難さに感激し、皇軍の歴史を裕した武勲を讃へた總督は説き來つて道義朝鮮の確立を高唱した、戰場精神をもつて生活に臨むならば銃後精神の昂揚、生産力の增強は期して待たれると喝破する總督は激しい實踐力を秘めて熱烈儒夫をも起たさんと十分間に亘り道義に立脚して勝ち拔く爲の生活を實踐せよとの強い言葉を半島二千四百萬官民に次の通り新春の餞を贈つた【寫眞＝放送する小磯總督】

全鮮の皆さん！新年お目出度う、皆さん！光輝ある決戰と偉大なる發展を企圖すべき神武紀元二千六百三年の元旦が來ました、我等二千四百萬半島同胞が道義を不拔に培ひ、眞黒くなつて皇國飛躍の陣頭に踊り、光輝ある決戰と偉大なる發展を推進すべき時が來ました、皆さん！本總督は皆さんと共に皇國日本の臣民たるの有難さと東亞諸國の中核的存在たる矜持とを腹底深くヒシくと自覺しつゝ、心から『お目出度う』とお祝ひ申すことの出來るのを大いなる喜びとするものであります

扨て皆さん！申すも畏きことながら　天皇陛下は屢々の機會に於て御躬ら『天佑ヲ保有シ』と御示しになり、又宣戰の大詔に於ても『皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ』と仰せになつて居られます、我々自らも亦諸々天佑神助を信じ朝鮮神宮や其の他の神社、神祠に詣でては、敬虔な心持で頭を下げ、心からなる戰勝を續けてゐるのであります、現に今日の元旦にも皆さんは一人殘らず神詣でをされたでせう、態々神社にお詣りされた方は勿論、各家庭に留守を守る方々も各戸で神を拜んだでせう、是等は我々の目には見えませぬが、神靈の實在を信じての仕業ではありますまいか『皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ』と宣はせられた現人神におはします天皇陛下を御中心に仰ぎ奉りつゝ、一億皇國臣民の心が一つの例外なく神靈に通じて天佑神助の恩に浴し、今年も亦、われくに吾我が皇國に幸あれと、祈る仕業ではありますまいか、かくしてわれくの心が神靈に通じ、鏡の如く曇りなき、すがくしき心境にある時こそ何物にも怖れず、如何なる障碍をも突破して大道を闊歩し得るのでありますが、之を皇國日本人の道と申すのであります、又我々の性格や職場や其他の職域は人毎に異つては居りませうが、我々の心が神靈に通じ鏡の如く曇りなきすがくしき心境にある時こそ、一人殘らず必然正しきを履んで進まねばならぬといふ同じ調子に和合して、共通の道筋即ち大道に闊歩することが出來るのでありますが、之を我皇國日本人の義と申すのであります、本總督が昨年六月着任以來今日に至る迄國體本義の透徹を強調して、道義朝鮮の建設に邁進致しませうと叫び來つたのも畢竟此心境になつて頂く様に念願したのであります

翻つて戰時下に在る皇國の現状を大觀しますならば、一昨昭和十六年十二月八日を發端として進展致しました大東亞戰爭は、御稜威の下忠良の皇軍は神靈の加護を享けつゝ、人類共同の敵米英に對し勇戰敢鬪を續けて、世界戰史の大勝を博し、西支那大陸においては、戰略政略工作着々として進展し、東部は北アリューシャン列島から、南下して大島、ギルバート諸島、ソロモン諸島から、ニューギニヤ、チモール、ジヤワ、スマトラ、マライ、ビルマ、泰、佛印を結ぶ雄大な弧形を描く、我が戰略態勢の攻勢作戰態勢が確立せられ、この圏内に包含せらるる無限の資源は、今や我が東亞民族自らの掌中に確保せられ、これ等諸地域の原住民族亦欣然として全面的同調協力を具現しつゝあります、而して歐洲における獨伊樞軸軍亦目覺しき活躍を以て皇國日本の聖戰に呼應して我が戰略的必勝不敗の基礎態勢は玆に完成し、愈よ本年以降において、敵米英を徹底的に擊滅し以て聖戰の目的たる東亞永遠の安定を完うし、眞に人類共存共榮の道義を普く全世界に打ち樹てむとする我が皇國の大理想實現に邁進することになりましたが、是眞に國體本義に徹せる日本國民の雄々しくも輝かしき道義世界の建設戰ともいふべきであります

然しながら大東亞戰の相貌を觀るに、現在までの戰爭段階は、所謂緒戰の域を脱せずして、その悲壯激烈なるべき本格戰的なる決戰は愈よ本年より開始せらるるの趨勢にあります、而してアングロサクソン民族の利益以外何ものをも顧みざる米英は慘敗による混亂狀態から、最近漸く立ち直れるとともに、緒戰に於る醜き頽勢を挽回すべく蔣政權その他を利を以つて欺瞞し、その自負する生産力を唯一の賴みとして今年こそは總反擊を敢行すると揚言して居り、現にアリューシャン方面や南太平洋方面に於て執拗なる反擊を試みてをります、素より御稜威の下天佑神助を保有する精鋭無敵な皇軍の存する以上、斯る敵の反擊企圖は却て我軍の思ふ壺に嵌るものであり、我戰果を更に大ならしむるものであることは火を睹るよりも明かでありますが、皇軍をして後顧なくその實力を發揮して敵を殲滅し易からしむることは、一に懸つて我々銃後國民の熱々たる道義の昂揚を基調とする戰力増强努力に俟たねばならぬことを自覺せねばなりませぬ、而も將に來るべき現前の決戰こそは最後の勝敗を左右する重大な鍵となるのであります、此意味において戰爭第二年たる今年こそは實に重大なる年であるといふべく、我々は更に道義を不拔に培ひ、國民の一人一人が常に戰場第一線に在ると同樣な氣魄と闘志を發揮し、眞黒くなつて銃後に活躍し、眞に光輝ある決戰と偉大なる發展を推進することこそ緊切不可缺の事態であります、是即ち本總督が着任の初めに於て朝鮮における諸施策は元より現實に即して其宜しきを制せねばならぬが、要は全能力と全努力とを聖戰目的完遂の一點に結集せねばならぬと言明してきた所以であります

願ふに道義朝鮮建設の必要と其理念に就ては曩に全鮮の皆さん既に熟と御承知のことゝ確信致します、本年からは半島二千四百萬一體となつて主として道義朝鮮建設の實踐に邁進致したいと存じますが、然しそれには前に申し述べました通り國民の一人々々が皆第一線將兵の心を以つて、戰場精神に徹し戰時生活に甘んずるの覺悟がなければなりませぬ、昨年は不幸にして旱害や水害の爲農作物も非常な減收で、自然皆さんに極度の消費節約を要求しましたので、隨分御困りでありませう、御不自由の點はお察し致します、そこで本總督は嘗て斷じて食はすと申し上げました以上、鮮内の誰でもが食物を入手し得て一人の餓死者も出さない様に善處は致します、それにしても内地、滿洲及び支那も共に本年は食糧に餘分がありませぬ狀態ながら皆さんに餘分のある程配給致し兼ねるがこの消息は諒得して頂き度いのであります、抑々人類活動の根源たる食糧が此の如き狀態に推移することは斷じて敬遠せねばならぬ事勿論ではありますが、現狀は戰場精神に徹しつゝ道義朝鮮建設に邁進し、この苦境を勝ち拔く爲に努力せねばならぬのであります、忍苦鍛錬の精神を認め職域を奉せられますので、忍苦鍛錬々々としてこの苦境を切り拔ける際に我々の戰場精神の彼岸を認め得るのではありますまいか

全鮮の皆さん！我々が心構に自分の腕に手を……

全鮮の皆さん！本總督が斯うして皆さんに語りかけてゐる間にも我等の同胞は、灼熱南洋の孤島で、或は酷寒の北方の荒野に山に乗つて敵と死闘を續けてゐるのであります、戰時生活に徹して困苦缺乏に耐へ忍び、道義に立脚して正しきを履まうではありませぬか

全鮮の皆さん！一年の計は元旦にありと申します、宜しく今日只今より更に一段の緊張を加へ戰陣に死處を得ける忠勇の如き同胞の姿に想ひを走せて深く戰場精神に徹し、勇躍道義朝鮮の實踐に邁進して増產の目的達成に皇國日本一億の同胞に魁けして、以つて戰勝完遂に寄與しようではありませぬか

古語に曰く『人事を盡して天命をまつ』と又曰く『天は自ら扶くるものを扶く』と、我々が戰場精神に徹し戰時生活に甘んじつゝ、道義に立脚して活動したならば、神靈も必ずや感應して我が增產行爲をも佑けるでせう、本年の操作も必ずや豐圓でせう、かくて來年は醜寇を打ちつゝ更に增產に拍車を加へ得るでせう

全鮮の皆さん！今日は正月の元旦です、元旦を期し、闘然奮起して一齊に決意を新たにし雄然道義に立脚して勝ち拔く增產の爲に戰ひませう、斯くして米英に勝ち拔いて更に醜敵を打ちませう、全鮮の皆さん！決意を新たにして今年の前途を祝福致しませう、新年お目出度う

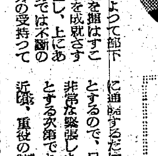
神前に赤誠の七萬

除夜祭におけるを待ち兼ねた元旦早朝から朝鮮神宮に押し寄せた祈念の民草は午前中で十萬人を突破、昨年の午前中七萬に對して流石に決戰下の意氣を數の上に示した

正面石段から、新參道から、また裏參道から、山參道から續々と登る參拜者の列はいづれも地味な裝ひの中にも新しき年を壽ぐ晴れやかな顔が目白押しに神宮へ、神宮へ……かくて人の波に埋められた大前に、額けぬ人々は遠くより力をこめて賽錢を擲げ、拍手の音も高らけく御代の春へまごころの感謝を奉献する、たちまち玉砂利の上には賽錢が白雪の光りを放つて積上つた、徵兵制の喜びを胸にる半島の父や母、決意を固める若者など、いづれも慎ましく長い列を作つて石壁を踏んで行く……まづ元旦は神宮から明けたのだ【寫眞＝朝鮮神宮の元旦參拜者】

陣頭指揮（二）

京電社長　穗積眞六郎氏



通曉と精神力修養　些事の干涉と履違へるな

私が役所にゐた時は外事課にしても殖産局にしても僕めは小さな組織の部課であつたので、自ら"陣頭指揮"どころではなく自分で實行しなければならぬやうな場合が多かつた、しかし、組織が大きくなるにつれて部下を信頼して充分、腕を揮つて貰ひ、たゞ責任を最後まで負ふ……といふ覺悟をもつて仕事の完全を期してをればよかつた

仕事が大きくなればなるほど、意氣と信頼によつて部下に思ふさまの手腕を揮はすことが完全なる仕事を成就さす所以と信ずる、但し、上にある者は今日の情勢では不斷の努力をもつて自分の受持つてゐる仕事の全般に通曉し、必要ある場合には直ちに陣頭に現立つて仕事を處理するだけの覺悟と努力とを要すると思ふ、殊に現下のやうな非常時にあたつては、刻々變化する情勢に通曉するだけの努力を必要とするので、日々の修養に依つて非常な緊張した精神力を必要とする次第である

近頃、重役の陣頭指揮といふことは、一面においてはこの精神力と努力との涵養を要求するものであつて決して重役がやかましく仕事について、部下の行動にうるさく干涉しろといふ意味とは考へてゐない

ただその會社全般に非常時に對處する精神力を吹きこみ、また部下が日々銃後經濟戰に從事してゐる努力を出來るだけ多くの機會に感謝の目をもつて觀察するために、常に現場を巡視して士氣を鼓舞する必要はあらう

即ち精神問題において常に陣頭に起つて會社の精神を統一し重役の精神力の緊張を彌が上にも高くするために、陣頭指揮の必要も大いにあると思ふ、仕事の上においては何時でも自ら事に當り得る修養をしておくのが必要であるが私はこれが重役の陣頭指揮だと心得てゐる

まだ會社に入つたばかりではあるが、將來、上述の如き考へで修養の第一歩を踏み出す覺悟である

責任感の強い男　沸き立つ原隊

個人感狀二人目の青木伍長

米國が東亞侵略の前進基地と恃んだ要塞コレヒドール攻略戰に參加して自ら戰歿の工兵魂を發揮、不滅の偉勲を打ち樹て個人感狀の榮譽に輝く故青木義太郎伍長がかつて軍務にいそしんだ原隊○○部隊を訪ふと、さきにはシンガポール攻略戰におけるジヨホール水道渡過戰に參加し山下マレー方面最高指揮官から誉れの個人感狀を授與された橋井久光伍長を出し、今また青木伍長の個人感狀に接すると部隊は沸きたつてゐる、戰友二十一名上等兵は『あの男ならば當然やるでせう』と在りし日の青木伍長について次の如く語つた【寫眞＝青木伍長】

平素から責任觀念の旺盛な男でした、勤務はどんな時でも率先して當り、而も必ず最後まで居殘つて後片付をして引揚げるといふ風でした、第○○艇の船手として敵前揚陸作業につき最初右腕に二ケ所の貫通銃創を受けたが屈せず左手で操舵綱をとり率先上陸して作業を續け、いよく努力が衰へるや操舵綱を腰に巻きつけて最後まで保持したまゝ戰死したといふことです、これを聞いて私たちは全くあの男の旺盛な精神力に感動させられました

陸の荒鷲　海の荒鷲

無敵日本の少年飛行兵の認識を新年號に詳しく發表され、よく分つて評判がよい。

嬉し"神前貯金"　賑ふ京城神社

戰勝の祈りは貯金にあり――と元旦の京城神社境內には必勝祈願の初詣でと神前貯金の嬉しい併ていつぱいだ、赫々たる皇軍の戰果を神前に感謝すると共に銃後國民の生活刷新を祈念すれば"勝つぞ"の"貯金報國"の念がわく、そこで京城債城金融組合では國民總力京城聯盟京城府戰時貯蓄後援のもとに元旦午前零時から正午まで收田後城金融組合理事以下五十名の係員は社頭に出張"貯金報國"の白襷もあざやかに特別奉仕した

受付開始の午前零時かつきりに馳けつけたのは京城大和町二ノ三守田守一さん金百圓の大口貯金、五圓、十圓どころが多く新年に因んだ金十八圓など續々詰めかける婦人の姿が目立つ、紋付や國民服に交つて桃割れや垂服の姿が明るく彩る

正午までに新加入が二百口の二千圓、總額貯金が五百口の三千圓といふ好成績を示したが最高は京城永樂町二丁目總代於保喜代次さんの二百九十一圓であつた

先陣きる献金部隊

限りなき戰捷の新春を壽ぐ元旦の佳き日、大東亞戰第三年目の先陣を承つて京城南米倉町二〇五立山鼎子ちゃん（一〇）、静子ちゃん（一一）、弟三〇君（一）この三人姉弟献金部隊が本社を訪問"憎い米英を打ちのめして下さい"と十五圓四十七錢を献金寄託した

これは昨年二月十五日英東洋侵略の基地獅子島陷落を記念して"感謝貯金箱"を作り小遣錢を貯めたものである

話題特急

☆…學童用通學靴配給の方法が變りました、戰時下聖生費節約活用部に協力、給調整の一助として古ゴム靴類の重要性に鑑み新春劈頭京城府では大々通達した☆…それによれば一、各學校において兒童一足購入配布の際は必ず古ゴム靴と交換するものとす、二、回收古ゴム靴類は學校において指定販賣人に直接配分しこれが代金は所用費用に充當するものとす、となつてゐる

アリューシャン防備の春（二）

闇の中から誰何の聲

憧れの熱田島！『寶珠の頸飾』と呼ばれる環米的アリューシャン列島の最東北端ニーヤ諸島のこの主島は、氷河に刻まれた百年の地層を白衣に包んで厳粛のやうである、記者らが降り立つた港灣にはクレブニコフといはれる岬が屏風のやうにそそり立つてゐた、艦隊の投錨した灣口に面して幅十二三米の小川が一筋、月光を浴びて神秘な音聲をさゝやくやうに流れてゐるが、紅鱒漁に勇士らが無聊を慰めるのもこの川だ、岸邊に光る白い木端のやうなものは何と鱒の骨ではないか、勇士たちに早く會ひたい欲求から記者ら夢中でその川を渡つた、膝までつかつたが冷たさは感じなかつた、砂濱から少し上つた丘の中腹にランプの光が見える、〇〇部隊の宿營してゐる陣營だと教へられてツンドラの斜坂を踏みしめてゆく『誰か』宿營の窪地から聲がした、日本語だ、しかも腹にこたへる勇子たるバス、ドキツとするやうな鋭氣である

『報道班員です、今あの艦で來ました、御苦勞さんですね』

『やあ、それは』

闇の中から現はれた極北の勇士の雄々しい軍裝を穴のあくほど夜目に透して見た、帽子は毛の房々とした蒙古型防寒帽、外套、手袋、防寒靴などは内地その儘の裝立ちである、凍りつくやうな薄明りの中で、雪焼けした顔が兵隊特有の中から僅かに覗き、射るやうな眼の光だけが酷寒に耐へ吹雪と闘つて來た不撓不屈の皇軍魂を物語つてゐる

『寒いでせうね』

深厳な謹意を表して問ひかけた記者らの質問に

『燃料は充分ではないが事缺かぬ程度に用意してあります、それにまだく寒い時季が來る時の襟みに、防寒具は努めて身につけないことにしてゐます、ただ洗濯が出來ないのが唯一の苦痛で……』と笑つた

砂鐵と黒ダイヤ

總濶三十五哩、幅十五哩の熱田島には樹木が少い、全く無いのではなく蘚苔地衣のツンドラ地帶の所々には寒柳や柏の灌木が密生してゐる窪地もあり、今は大半銀一色に塗り潰されてゐるが、勇猛果敢に雪を掻き分けて陣營を祈るにはさして不便はなさゝうである、皇軍勇士の起居してゐる兵舍の周圍に陣地作業の寸暇を割んで盛へたこれらの用木が堆高く積まれて、煙突は吹雪に一枚々々入欲に堪

怒濤に屠る"赤蜻蛉"　作戰餘暇に科學のメス

べられてゐた、アリュート族と米田漁民の混血兒だといはれる、住民は記者らの上陸したベーリング海に臨む〇〇部隊にはゐなかつた、恰度その背に當る〇〇部隊には老若男女合せて廿數名、アラスカ漁業會社の建てた白ペンキ塗りのバラツク洋館に一つの教會堂を囲んで極く最近までゐたさうである、元來此處附近は晩春から初秋にかけて海獸に産卵に來る鮭鱒の漁をしたり、冬季陸上では狐、海では海豹を獲るために、日米ソ國の北洋漁業者が鎬を削つたところだけに漁期以外は定住者がなく、物好きのヤンキーですら避寒に訪れた形跡が絶無なくらゐ寂寞な場所であるが、戰ひに強く建設に強い皇軍精鋭は、かうした未開の孤島でも作戰の餘暇を見て資源探査の科學のメスを揮ひ、川に鱒を釣りに行つたA兵長は川沿ひの碳層部分の露頭を掘り、窪地に猫柳を刈りに出た炭坑經驗のB伍長の姫きは、其露に露出して居たといふ黒ダイヤのかけらを新聞紙に包んで丁寧に保存してゐた、資源不足に惱まされ通して來た同島が、不毛荒無に見捨てられて來たこのアリューシャンの孤島にまで、天然の賜を一つでも多く發見しようと努めてゐるのだ

これが敵の機銃彈

兵舍の中央に置かれた粗末なストーブを囲んで四方山話をする今夜の兵舍は新婚を迎へる山間の水車小屋のやうに陸で浮々してゐる、天幕にきいたり答へたりしてゐる間にも、戰友に向くれとこの地の注意をしてゐる者もあれば、みつちり組込んで來た荷物を整理してゐる班長もある、空襲がひどい話もきいた、毎朝夜明けが來ると晴れた日でも曇つた日でも、暴風や吹雪でない限りはきまつて哨戒機がやつて來る、人影や舟艇を見ると地上スレくに舞ひ下りて猛烈な機銃掃射を浴せかけてゆく、これがその機銃彈ですよ、と見せられた彈丸は、眞黒な拇指位もある

北洋の小島雲の連峰を望む【武田海軍報道班員撮影＝海軍省許可濟第五七一號】

『しかし人員の損傷は絶無といつていゝ位ですよ』

敵もそれと感じてか近頃は掃射もやらず、島の上を旋回するだけで去るが、島に近づく艦艇を發見しようものならB十七、コンソリデーテッドなど四發機の大型機が續々襲ひかゝるといふ、兵力は敵然なものではないが、こちらはさうした友軍の危險に直面した場合は敢然砲火を開いてこれに挑戰、赤蜻蛉でもたゝき落すやうに必中彈を見舞つてベーリング海の怒濤の中に葬り去るとのことだ、搭乘者二名は御丁寧にもパラシウトで海中に着水したといふ

さらば舟艇の別離

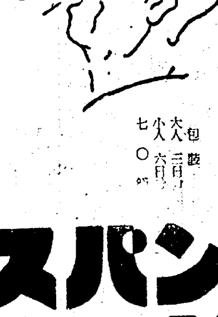
風さへなければ氣溫は思つたより高い、零下二三度だといふ、この分なら一月二月の嚴寒期も左程嚴しくはなさゝうだ、緯度からいへばいま日本ではこの熱田島が一番北であるが千島の北端よりじつと暖かなのは黑潮の影響ださうである、暖流がベーリング海の寒流とともに此所でぶつかつて、濃いガスが出來るのも暖かな證據であるが、海霧から始終かげらうが立つてゐるのも水溫の高いことを物語つてゐる

重ねて訊ねて見たが『寒氣らしいものは？』半年も風呂に入らぬ勇士たちは笑はれた、飲み水は結構、副食物は罐詰が多いが、病人もなく皇軍の士氣は極めて旺盛である『内地の人に元氣でゐるからといつて下さい』と任務を了へて此所を去る艦隊の舷に、低い海霧から舟艇が怒鳴る『承知した、元氣でやれよ』と激勵する艦上、記者も聲を限りに叫ばなければならない、わざくく仕立てゝくれた舟艇に乘つて別れ……出の熱田島沿岸を離れた

内地へ　日本海航路ご

日本海汽船　清津北星町　電話一六三番

咳止め



氣管支カタール　流行性感冒　百日咳・喘息等

包装　大人三日分　小人六日分　七〇銭

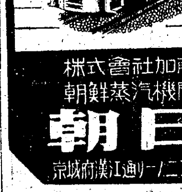
フスパン　シロップ

富村製藥株式會社

陸軍御用　軍装用品　軍教用品　と武道具一式

株式會社　東京進軍堂

東京市神田區小川町三丁目七番地　電話神田(25)六一二・四八九七番　支店　朝鮮・熊本・函館



蒸汽機關車　ガソリン機關車　全純正部分品　土木用諸機械　鑛山用諸機械

株式會社加藤製作所鮮滿代理店　朝鮮蒸汽機關車製作所總代理店

朝日商行

京城府漢江通リ一ノ二五三　電話龍山④2598 2599

社名變更公告

昭和十七年十二月二十五日開催ノ臨時株主總會ノ決議ニ依リ左記ノ通リ社名變更仕候間此段公告候也

昭和十七年十二月二十五日

埼玉縣川口市幸町二ノ五三番地

鐘淵デイゼル工業株式會社（舊稱日本デイゼル工業株式會社）

軍犬報國　軍用犬

柴犬　猪犬　秋田犬　仔犬　番犬に　日本犬

日本犬柴犬研究所

高血壓に　リキシン

中風に

リキシンは病氣の原因となる濁り血を淨化して血管（動脈）を軟げ血行をよくするので、高い血壓も自然に下り、一度下つた血壓は容易に逆戻りしない。從つて頭重、不眠、のぼせ、めまひ、耳鳴り、肩凝り、便秘等が治り、怖しい心臟麻痺や腦溢血が豫防できる。

リキシンを服用し乍ら適當な養生すれば舌のモツレや手足シビレは勿論、半身不隨の難症も次第に快方する

一円半・三円半・六円半（全國藥店に有）

今津化學研究所

匂ひこぼれる髪……誇らしい髪！

それは金鶴が創りなす髪！

金鶴香油

株式會社野村商店

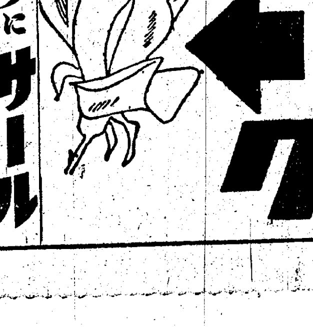
亡父三文淸（文承卓）儀病氣療養中の處十二月三十一日午前一時死去致候間生前の御厚誼を拜謝致此段御通知に代へ謹告仕候

追而葬儀は昭和十八年一月四日午前九時より午時迄自宅に於て相營可申候

昭和十七年十二月三十一日　京城府竹添町二丁目二十七番地

嗣子　彰　男　癸　男　仁　舍兄　承　友人總代　金潤海　劉岡昌　神　植植字晶鍾照

づつうにサール



アマツ

薔薇の花の意匠で有名な――興亞化學工業の力作です・・・

藥用パパイン　クリーム

頑張れ！敵も必死だ

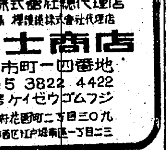
高瀨合名會社

京城府南大門通二丁目九拾五番地

楠公ベルト

特許ローカル印コンベヤーベルト継手

營業品目　ベルト・ゴムホース　工業用ゴム　石綿製品　ゴム引布製品及各種雑貨　ベアリング及諸鋼製品



三ツ星調帯株式會社總代理店　陸海軍省指定工場　櫻護謨株式會社代理店

富士商店

京城府古市町一四番地　電話本局③3015 3822 4422　受信略號ケイゼウゴムフジ

清津店　清津府花園町二丁目三〇九　大阪店　大阪市西區江戸堀南通一丁目二三

今日も決戰明日も決戰

株式會社　三國商會

迫害に我ら堪へたり 血涙絞つた沙漠の別れ

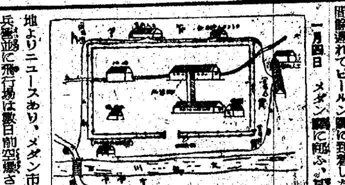
濠洲抑留日誌 水谷邁氏

大東亞戰下に迎へた第二回目の正月、松飾りも鏡餅もこと缺かぬ程度にはあてがはれた、羽根つく少女の顔にも思ひ切り正月を愉しむ明るい表情が、今年もまた日本の正月として登場した、戰捷に湧く新年を奏き國に、おほらかに迎へることの感謝をさらにいま、敵地に抑留されてゐる海外同胞第一線の同胞に馳せ、その忍苦の生活を偲ぶため血涙滲むその抑留日誌を讀むとしよう、この日誌は現在京城東四軒町卅八崔將秀氏方に假寓する金本將勝氏の夫人周子さんの手許へ最近入手されたもので、夫君將勝氏らはじめ多くの同胞が最後まで權益擁護のためスマトラに踏留り、遂に昭和十六年十二月八日、大東亞戰爭勃發と共に同氏らはオランダ官憲に捕へられ、非道な待遇に齒を喰ひしばりながら濠洲ラブデー收容所に送つたのだ、本年九月九日ポルトガル船ロレンソ・マルケスで交換船に乘船するまでを綴つた血涙記、日記中には年の瀬もなく、新年もない、たゞ故國を想ひつつ日本人として雄々しくも不自由な收容生活に戰つてゐる同胞の逞しき姿がまざまざと誌されてある。この濠洲抑留日誌は十二月八日からはじまつてゐるが、記述者は當時スマトラ・メダン市フツテンバツ街二西林商店水谷邁氏で、その日午前七時ごろ同店先で捕はれメダン移民局に送られ、ひと切れのパンとバナナの葉に包んだ飯をあてがはれてオランダ兵の鞭の下に勞役を強ひられ、それより十數日間は各收容所を轉々、その十二月卅一日はスマトラ内のグンテングルパン收容所で僅か一打のビールを手に入れて昭和十七年の元旦を迎へる用意を整へてゐた、その中に岸將勝氏も加つてゐたのである（圖面はラブデー收容所の見取圖）

昭和十七年一月一日 天皇陛下萬歳を山中にて三唱後、皇軍の武運長久を祈りつつ皇國必勝の覺悟を新にす

一月三日 朝により突然出發命令下り午前三時グンテングルパン發、老人の荷物を前へ後を押しつつ或る者は子供をおんぶして強歩を強る、その強歩を往復すること五回、婦女子はトラックでビールン驛に向つた、われわれは約二時間餘遲れてビールン驛に到着した

一月四日 メダン驛に向ふ、某



地よりニュースあり、メダン市の兵營跡に飛行場は數日前空襲されたとのこと、在留五年住みなれし土地だ、想ひをめぐらしつつ午後三時同驛着、車中より見れば支那商店は殆ど閉店、靜かな町に變つてゐる、午後五時過ぎシヤンタル驛着、同地刑務所に送られ南京虫と戰ひつつ夜を徹す

一月五日 午後一時驛送で藥振りのトラツクで驛路を過ぎシボルガへ向ふ

一月六日 シボルガー着、同地小學校に收容

一月八日 午後五時過ぎ再びトラツクにて男子のみがシボルガー港に送られ直ちに船に乘せられる、こゝよりパダン港へ向ふのだ、狹い船は物々しい、命令なくしてハツチより出る者は射殺されるのだ、横になることも出來ず坐したまゝで夜を過す、船中でシボルガー殘留の婦女子は九日トラツクでパダンに送られたことを聽いた

一月十日 一同、いづれも度胸をきめて日を送る中、午前パダン港着、下船の際同胞十數名アンボン兵に射たれた、緊張し切つた空氣のため荷物を抱へたまゝ人朔を察したゝめの無道なる仕打ちである、憎むべき蘭印アンボン兵……下船後直ちに古い倉庫内に收容される、窓は閉ざされ日光も見られず、こゝでまた十數名が足蹴にされた、夜は板の上に寢る

一月十四日 午後一時過ぎ再び船に乘せられる、一體どこに送られるのか、或者はニヤス島だとも云ふ、しばらくして同船に婦女子がゐることを知つた、お互ひに無事か……

一月十七日 オーストハーフエン港外碇泊

一月十九日 オーストハーフエン出港、船中の食事は朝食握り飯一個に鹽小皿一個、晝食握り飯一個、水牛肉一片、夕食握り飯一個、鷄卵一個、だが時折腐敗したものも支給される

一月廿日 バタビヤ（タンジヨンプリオ港）着、同港碇泊中わが皇軍偵察機盛んに偵察し來る、だがその勇ましい姿は見えず、爆音だけが心に響く

一月廿四日 オーストハーフエン港外碇泊、數時間後出帆

二月十日 午前中、夫婦者、家族ある者がタツウラ收容所へ出發した

二月十一日 午前六時過ぎ居殘りのわれわれ獨身者が出發、午後六時沙漠の中のラブデー收容所へ着いた、相變らず發熱四十度を降らず、嗚呼苦しい……同地は樹木も乏しく、その砂漠の中に百數十軒の天幕がある、これが收容所なのだ、熱風は砂塵を捲きあげて天幕の中まで吹きまくる、地上四五十尺は全く砂塵の幔幕を張つたやうだ、こゝで各地から送られて來た同胞の姿に接する、次第にわれわれは落ちつきを取戻す

二月廿三日 收容所の各張天幕に一丁目から十二丁目まで…と日本式名稱を附した、我等スマトラ組は八丁目の天幕に陣取り、ボルネオ組藏の岸、毎熊氏ほか五人は八丁目の十番天幕に生活した、運動は各自が考案してバツト、グローブ、ミツトを手製して野球をやつた、また俳句會もできた、ある者はバケツの底片を小刀代用として木の根を切つて見事な彫刻パイプを造つた、齒車、石鹸などを得るために一日一シリングで五時間勞働に從事する、道路修理、石鹸製造などがその主な仕事である、また時々演藝會を催しお互ひが隠し藝を出し合つて慰めた

七月廿八日 日英抑留者交換の話を聽く、嬉しさの餘りその夜は一睡もできなかつた、あゝ祖國に歸れる、だが後に殘される幾多同胞あることを思へばひとり心は暗くなる

九月十五日 午後六時、愈よラブデー收容所を出發だ、殘されて見送る者、ひと足先に行くわれわれの出發組、お互は涙の中に無事を祈り合つた、歸れぬ人の中には名前が違つてゐたため折角の幸運を取逃した人もゐた、『奧さんによろしく申上げますよ』私も涙で語る、同胞よ、御稜威の下に頑張れ、午後七時パルメラ驛着

八月十七日 午前二時メルボルン北港着、午前五時シテイ・オブ・キヤンタベリー號（貨物船）に乘船、四、五十名の濠洲兵に警戒されつつ一路ロレンソ・マルケスへ、かくて船中でも敵看視兵の暴戻な待遇をうけつつしかも一同元氣、九月九日ロレンソマルケスに到着、船腹に輝く日の丸をつけた先着のわが交換船鎌倉丸の雄姿を見た

大いなる祭 【26】

中野實（作） 三芳悌吉（繪）

白旗（二）

『租界に上つたんですが、店のことですね、キヤバレ・リスボンは表面的に日本びいき、裏面的びいきと思つてゐませう。そのために今云つたやうな、英國側にとつて不利な情報を撒き散らすのは、リスボンだらうつていふ風に、これまた何處からかそんな噂が出たもんです。實は今朝方金屬つていふうちの踊り子が、店を出たところでへんな支那人につかまつて樞軸國びいきなら生命はないぞと脅かされる始末なんです。支那人にさう云つと汚けなんて云はれたつていふんですが……』

『はつは。君が味方に憎まれてゐるといふのだ』

『さうなんですよ』

『それはいゝおやないか』

アルメイダはいつもの冷い沈黙に戻つて云つた。

『敵を欺かんと欲すれば、先づ味方を欺くに如かずだ。君はあくまで樞軸國側についてゐてくれなければ困る。かういふやうに英國にとつて戰況が不利になれば、なるだけ、君の仕事はますます重大になつてくるのだ。

さうだらう、たとへば、キヤバレー・リスボンだつて香港が落ちさうになつたから、急に樞軸國びいきを塗りかへて樞軸國色になつても誰も信用はしないのだ。戰爭になる前から、リスボンが日本びいきのやうな顔をしてゐたから、戰爭後になつて認めてその眞價が發揮出來るんおやないか。君の既從はこれからだよ。いゝから、ジヤンジヤン騷ぐやうにしてくれたまへ。最近特に日本人がこの港門へ大分入り込んで來てゐる形跡があるから、うんとひきつけておいて情報をとるやうに、ひとつ君は廣東へでも出かけて、日本語の達者な踊り子でもひつぱつて來て店に入れるんだよ』

『判りました』

『それはさうと、Z一七號からその後なにかニユースは入らないかね』

『まだ詳しい情報は入らないですが、日本人が一人即死したのは確實です。しかし、政廳の神經を大分尖らせて、日本人出入のホテルや、例の小西といふ醫者の家なんか相當嚴重に警戒してゐます』

『よろしい』

アルメイダは云つた。

『君は、かういふ英國の諺を知つてゐるだらう。汝もし死を欲せば野獸の如く靜かに深山に行きて死せよ。これは、英國の情報省が標語にしてゐる金言だ。長い間、われわれの祖國が莫大な金をかけてこの東洋に地盤をこしらへた思想宣傳謀略が、いよいよ秘密戰を展開する時が來たんだ。そして我我は默々と死ねばよいのだ。中立國人に化け通して死ねばよいのだ』

『判ります。判ります』

フロイスは、あたかも名僧の説教にうたれたかのやうに何度も頷いた。

ガランとした酒場の祭壇の前で一司祭師と敬虔な一信徒が神の奇蹟でも話るやうに……。

『では、フロイス君。ちよつと』

アルメイダは奧の一室へフロイスを導くと、机から一通の手紙を出して、

『Z一七號へこれを渡してくれたまへ』

『承知しました』

ラジオ 2日

朝 七・〇〇御製謹誦（録音）（城）山田積善▲八・〇〇（城）今日のお知らせ▲八・三〇（城）『此の一年と我等の誓』金川聖▲九・〇〇1箏と管絃樂2『越天樂變奏曲』ほか宮城道雄、3わらべ唄東京市中目黒國民學校兒童ほか

晝 〇・三〇（大）狂言『惠比須大黑』大藏彌太郎ほか▲一・〇〇ピアノ獨奏1『さくらさくら』ほか草間加壽子 2バイオリン獨奏『春の海』ほか諏訪根自子 3獨唱と合唱『地唄萬歳』ほか神宮寺雄三郎ほか▲二・〇〇1愛國百人一首『君がため』ほか 佐々木呪香ほか【釜山】長唄『鶴龜』ほか【平壤】箏曲『清水樂』ほか【咸興】朗誦『明治天皇御製』ほか【裡里】謠曲『忠靈』ほか【大邱】謠曲『時鳥』の曲ほか【光州】謠曲『忠靈』ほか

夜 六・〇〇（城）お話『決戰に望む』井原潤次郎▲六・三〇（城）新作才談『新發明』（鮮語）澄川滿▲七・三〇『戰爭第二年新春の譜』佐藤衛▲八・〇〇新春家庭演藝會―伊馬鵜平構成―▲九・〇〇（城）1鄕成樂獨奏金川貞次2（城）野談『奇人と奇人』（鮮語）申鼎言3（城）新民謠『豊穰行進』ほか（鮮語）仁原泳子

ラジオ（三日）

朝 七・〇〇1御製謹誦（録音）吉村伝城、2荒御魂和御魂（一）今泉定助▲八・三〇（城）『此の一年と我等の誓ひ』（鮮語）公山富雄（平壤）年頭所感（鮮語）增永弘▲九・三〇吹奏樂『國民進軍』ほか日本放送吹奏樂團▲一〇・〇〇1『戰爭第二年新春の譜』武部六藏、2戰爭下の正月

晝 午後〇・三〇（名）御殿萬歳 北川幸太郎外（名）三曲萬歳▲一・〇〇歌謠組曲『初夢』杉山美子他▲一・三〇（大）義太夫『傾城反魂香吃の又平名筆の段』竹本大隅美太夫ほか▲三・三〇1『かるた競技の精神』村松久義2愛國百人一首朗讀大槻賀壽良

夜 六・〇〇（城）僕等の放送演藝會 藤野健太郎ほか▲六・三〇（城）三曲『君子』太田興志ほか▲七・二〇1『戰局と大東亞建設の前途』伍堂卓雄、2週間戰局▲八・〇〇寄席中繼『三人旅』ほか 柳家小さんほか▲九・〇〇（城）詩歌朗唱『國家の譜』ほか（鮮語）河原紫巖ほか

香料 化粧品材料 染料 (製菓・飲料水用／化粧品製造用) 着色料
(朝鮮國貿易第二次配給組合員) 東 東華洋行 京城府花園町九七 電本(2)三九九一番

ここも戰場だ
土木建築請負業 野澤建築事務所 野澤梅之助
京城府花園町百十九番地 電話本局(2)五三二一番

カメラと各種寫眞材料等の最新價格發表！
（カタログ進呈）四錢切手封入請求の事
●カタログ出來―速刻御申込あれ！

ウエル・スタンダード	F4.5	ベスト一〇枚撮	七二、〇〇
ピーコツタ	F6.3	ベスト½	四六、〇〇
ペロフオアー	F3.5	4×4(ベスト)	一四四、〇〇
ドラス	F4.5	ベスト½	五二、〇〇
コンドルシツクス	F3.5	6×6	一三八、〇〇
ウエーハクローム(S-X)	F3.5	6×6	二九〇、〇〇
スター・セミ	F3.5	2B½	一六二、〇〇
セミ・ミノルタ	F4.5	2B½	一一七、〇〇
セミ・ミノルタ	F3.5	2B½	一四二、〇〇
セミ・クラツクス	F3.5	2B½	一五二、〇〇
ワバサ・スーパーセミ	F4.5	2B½	七三、〇〇
セミ・コンドル	F4.5	2B½	一九三、〇〇
ユーセミコンドル	F3.5	2B½	一三八、〇〇
シンタツクス	F3.5	2B½	一四〇、〇〇
ワルタツクス	F3.5	2B½	一八五、〇〇
セミ・レンキー	F4.5	2B½	一五〇、〇〇
ライラフレツクスF型	F3.5	6×6	一三六、〇〇
ローメーフレツクス	F3.6	6×6	一九九、〇〇

京城明治町 島田誠昌堂

頑張れ！敵も必死だ
朝鮮鐵道株式會社
北鮮拓殖鐵道株式會社

ハマグチペン
發賣元 株式會社服部洋行

米英撃滅へ總進軍
淺野カーリツト株式會社
株式會社 北工業所 京城府古市町十二番地

洋楽レコードは山口楽器店へ

すべてを戰争へ
日本窒素肥料株式會社
朝鮮水力電氣株式會社
朝鮮鴨綠江水力發電株式會社
朝鮮送電株式會社
日窒鑛業開發株式會社

やけど たゞれ きず おでき ハリバ軟膏

亞細亞の英雄 成吉思汗
紅系 正月四日ヨリ公開
上映中 阪妻の 富士に立つ影 3日マデ
京城寶塚劇場 京城劇場

東宝
寶巻にされて天龍川にぶち込まれたやくざの勘太郎が始めて目ざめた大義明分―すつきりと胸のすくやうな快作です！
瀧澤英輔……演出 三村伸太郎 八住利雄……脚本
伊那の勘太郎 四日封切
長谷川一夫・山田五十鈴・竹久千惠子 (ビクター)市丸・黒川彌太郎・丸山定夫
明治座 若草劇場

神經科 醫學博士 服部六郎 醫學博士 明柱完 城北病院

今日も決戰明日も決戰
東山産業株式會社 京城出張所 京城府南大門通り五丁目一四

原作 大佛次郎 日活超大作映畫
鞍馬天狗 薩摩の密使 嵐寛壽郎十八番の颯爽篇!!
三日ヨリ大公開
感激の一夜 アルベール・スレジヤン氏 アンナ・ベラ孃 主演
市川春代・澄香新八郎 楠公子・園徳麿
中央劇場

各種ゴムパッキング
用用用 板品ロール他 油用 酸用 熱用 入製品 布型 其他
合名會社 十川ゴム製造所京城出張所
本社電話住吉二九〇一・二九六五・三四三五・三九五七
京城府岡崎町二番地（京菓ビル） 電話 龍山④二四五三番

すべてを戰争へ
京城土木建築業 應接組合

一般醫藥 各社新藥 有名賣藥 高級化粧品 衛生材料 醫科器械
株式會社 新井藥房 京城府南大門通二丁目 電話本局（二四九・二四〇〇・三四〇四・五三六八番） 振替口座京城一六番 私書函京城局一六番 受信略號ケイゼツクスリ
寫眞用藥品 化學用藥品 工藝用藥品 釀造用藥品 農藝用藥品
株式會社 清津新井藥房 清津府浦項町 電話三一四三・三八八一番 振替口座京城七一六番 私書函清津局一七番 受信略號セイシンアライ

日本索道株式會社
取締役社長 西山實 專務取締役技師長 塚本武敬 取締役工事部長 眞鍋時次郎 取締役技術部長 茂木靜夫 京城出張所長 大藪常吉
本社 東京市芝區新櫻田町十九番地 電話銀座(57)四一六二・四一六三・四一六四番
出張所 京城府永樂町二ノ六五番地 電話本局②六五九二番

若劇 三十日より上映時間表 ニユース 松竹映畫特別大作 吾等今ぞ征く 幽靈大いに怒る 一月一日より七日まで早朝興行致します
喜樂館 新春第一次 二十九日より上映 日本ニユース 漫畫 文化映畫 ワン公の武勇傳 闘ふ農村 嵐寛壽郎の 海の豪族
京日 鐘路文化劇場 賀正 劇團高協公演 金春鎭作 春は上海に 三幕五場 演出……全昌根 裝置……林明善 一日より五日まで（五日間）晝十二時夜六時開演致シマス
[illegible]文化映畫劇場 卅一日より正月二日迄（五日まで早朝興行） 1新春漫畫祭 2アサヒホームグラフ 子寶行進曲 3文化映畫 馬術を説く 4漫畫・マー坊の冒險 サーカスの巻 匪賊退治の巻 5日本ニユース
花山演藝團 元日より六日間 爆笑まんざい 總指揮 秋元五郎
朝日座 賀正・青春座新正公演 三十日より 林武氏作『大地の母』四幕六場 正月元旦より五日まで（五日間）晝夜二回上演致シマス
東洋劇場
新富座 卅一日より二日まで 賀正（元日より五日迄午前十一時より始映）日本ニユース 文化映畫 養蠶地帶 中華映畫（大東亞建設の春に捧ぐ善隣の珠玉篇）木蘭從軍 中國の名花 陳雲裳主演
桃花劇場 卅一日より二日まで 賀正（一日より五日まで午前十一時始映）日本ニユース 文化映畫 農民歌國の幸 迎春花 李香蘭主演

涙花館 三十一日より上映 ニユース 文化映畫 中華映畫 木蘭從軍 陳雲裳 梅熹 劉瓊 主演
朝鮮樂劇團（早朝興行） 新春公演 自三十一日至一月五日 第一部 詩劇 山櫻 一場 第二部 歌劇 燕のくに 九景 第三部 舞踊 音樂 華やかな舞曲 廿景
大陸劇場 卅一日より 日本ニユース 文化映畫 富士に立つ影 日曜祭日ハ早朝興行
京劇 十二月三十日―一月二日 ニユース 生きた慰問袋 富士に立つ影 一月一日より七日まで午前九時開場
城寶 卅十日より一月八日まで（元日より四日迄休館）日曜祭日は午前十時半より
和信映畫館 卅十日より一月八日まで（元日より四日迄休館）日曜祭日は午前十時半より上映 日本ニユース 挺子と地球 東寶映畫特作 九段の母 全七卷 主演
明治座 三十日よりの時間表 文化映畫 ニユース 幽靈大いに怒る 一月一日より七日まで午前八時五十分開場
城南劇場 正月中早朝興行 三十日ヨリ正月二日マデ 日本ニユース 文化映畫 東寶映畫 嫁ぐ日まで 原節子 豪傑系圖
東寶 中央劇場 三十日ヨリ正月二日マデ 日本ニユース 文化映畫 東寶映畫特作 エノケンの 譽れの土俵入 豪傑系圖